

技術分野 「物質と技術」系修得

工学部 生物応用化学科 4年 大久保 由美

大学に入学した時、共通教育についてのガイダンスがあり、ある一つの「系」を集中的に履修すると、「副専攻」というのが修得できると説明された。そして、その時、初めて、「副専攻」とは、福井大学独自の制度であり、特徴的な取り組みの一つであるということを知った。

大学一年の頃は、何も考えずに、ただ自分の好きな授業を、いろいろな分野からとっていた。中には、今まで全く受けたことがないような分野の授業もあり、新たな発見の連続だった。そういう中で、私は、ある分野に興味を持ち、それについて、もっと深く学びたい、知識を増やしたい、と思うようになった。興味のあることに関する知識が増えていくのは、楽しいものだった。高校まで、“進学のための学習”がほとんどだった私にとって、自ら興味のある授業を選択し、学べるということは、非常に新鮮味があり、“学ぶ”ということの楽しさを実感した。一つの分野を学ぶだけでは、社会に出て、実際に活躍できる幅広い力を身につけることはできないと思う。

副専攻では、異分野への関心を深められる点や、主専攻とは異なった専門分野を広げられる点など、良いと思う点が多く挙げられる。改善した方がよいと思う点について、敢えて言うならば、一つの系の中の科目数が少ないということである。人気のある系だけでも、もっと科目数を増やすとさらに良いのではないかと思う。また、あれもこれもとりたいと思っても、曜日が重なっていて、どれか一つしかとれないという不自由な思いをしたこともあった。せっかく学ぼうと思っているのに学べないのは、少しもったいないような気がした。

今回、私は、ある分野に興味を持ち、「副専攻」を修得したが、このような形で認めていただけることは大変嬉しく思う。私は、このような経験を通じて、専門分野だけでなく、積極的に他の分野を学ぼうという取り組み方についても学んだと思う。これからも、学ぶことに対して強い意欲を持ち、努力する姿勢を大切にしたい。